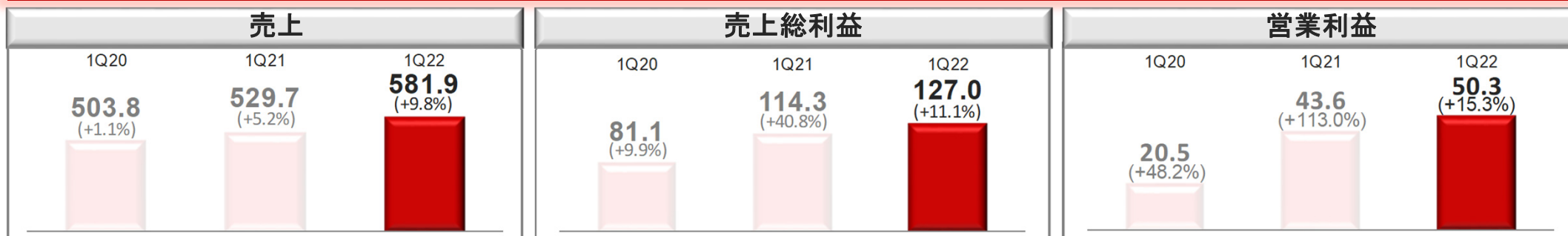


# I. 1Q22総括

単位:億円  
+% = 前年同期比、QoQは前四半期比増減

**FY22計画通りに1Qスタート ネットワークサービスの需要活況継続**  
**売上 581.9億円 +9.8% 営業利益 50.3億円 +15.3%**

2Q以降寄与の複数年確定ネットワーク(NW)更改等案件獲得・積み上げ SI構築受注は想定超過で推移  
 企業NW高度・複合化でNWサービス・SIの複合提案・獲得機会が数年来で顕著に増大



NWサービス	<p>4Q21時に続きネットワーク更改等の複数年確定複合案件受注積み上げ 契約総額 約35億円 9件・3~5年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業法人向けセキュリティ案件、行政情報基盤システム構築、大手金融機関向けインターネットゲートウェイ強化案件 等</li> <li>クラウド接続サービス「IIJプライベートバックボーンサービス/Smart HUB」(22年6月)提供開始でNWサービス群の複合価値一層向上</li> <li>1Q22 IP・WAN売上は4Q21大型案件開通反動減で想定通りQoQ微減</li> </ul>
モバイル	<p>競合変化のなか個人モバイル獲得ペース向上・予算超過でスタート、法人はNWカメラ等IoT用途需要継続積み上げで売上・回線数伸長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1Q22末 モバイル回線数合計 361.6万(+11.8万QoQ) うち個人+3.6万QoQ(4Q21末+1.7万QoQ) うち法人モバイル(除くMVNE)+8.3万QoQ</li> <li>モバイルキャリア冗長化・eSIM/バックアップ等の付加価値ソリューションが奏功</li> </ul>
SI	<p>強い需要環境 受注活況でスタート 構築: 受注 +23.1%YoY 受注残 +40.7%YoY</p>
持分法関連会社 ディーカレット	<p>サービス提供開始に向け「二層構造デジタル通貨プラットフォーム」特許取得・複数の実証実験を遂行中</p>
株式分割	<p>22年10月1日付で1:2株式分割を実行予定</p>

## II - 1. 連結業績サマリー

単位: 億円

	売上高比		前年同期比		売上高比		前年同期比		売上高比		前期比	
	1Q22実績 2022年4月～2022年6月	1Q21実績 2021年4月～2021年6月			FY22上期見通し (2022年6月発表) 2022年4月～2022年9月	FY22通期見通し (2022年6月発表) 2022年4月～2023年3月						
売上収益	581.9	529.7	+9.8%	+52.2	1,170	+7.3%	+79.5	2,500	+10.5%	+236.6		
売上原価	78.2% 454.9	78.4% 415.5	+9.5%	+39.4	77.7% 909	+5.7%	+49.3	76.9% 1,922	+10.0%	+174.9		
売上総利益	21.8% 127.0	21.6% 114.3	+11.1%	+12.7	22.3% 261	+13.1%	+30.1	23.1% 578	+12.0%	+61.7		
販売管理費等	13.2% 76.7	13.3% 70.7	+8.6%	+6.1	13.2% 154	+11.7%	+16.2	12.2% 306	+9.0%	+25.2		
営業利益	8.6% 50.3	8.2% 43.6	+15.3%	+6.7	9.1% 107	+15.0%	+14.0	10.9% 272	+15.5%	+36.5		
税引前利益	11.4% 66.2	10.1% 53.5	+23.8%	+12.7	8.8% 103	△1.3%	△ 1.3	10.5% 263	+8.8%	+21.4		
当期利益	7.5% 43.9	6.6% 35.1	+25.2%	+8.8	5.8% 68	△1.3%	△ 0.9	7.0% 175	+11.7%	+18.3		

- ・ 販売管理費等は、販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)、その他の収益、その他の費用の合計額を記載
- ・ 当期利益は、親会社の所有者に帰属する利益を表示



日本のインターネットは1992年、IIJとともにはじまりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ

---

IIJはいつもはじまりであり、未来です。

### **事業等のリスク**

本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。